

# 「若者によるまちづくり実践塾」

青葉区中央市民センター

## 1 事業概要

本事業は、若者が活動を通して、自己のものの見方や考え方を広げ、地域に対する関心を高めることができるよう支援し、将来の地域の担い手として自発的・主体的に行動できる「人づくり」をねらいとしています。令和6年度は、イベント実施を目標に2つのプロジェクトチームを作り「若者が地域・社会活動に参画するまち仙台」をテーマに活動を行いました。

## 2 令和6年度の活動

今年度は、大学生12名で活動しています。ニュースポーツ体験を通じた市民交流イベントと、自分たちと同じ世代を対象にしたガイドツアーイベントを実施しました。

### 【青葉区民祭り ニュースポーツ体験】

「全力で遊ぼう」という名前で青葉区民祭りにポッチャ・モルック体験ブースを出展しました。誰でも気軽に参加できるようにルールを工夫して実施しました。62組120名以上と多くの方が参加し、親子を中心に幅広い年代の方がニュースポーツを体験しました。色々な方との交流を通し、自分たちの活動を広報することができました。



### 【定禅寺通ガイドツアーイベント】

今回のガイドツアーは6名の企画者（ガイド）と県外から進学してきた3名の学生（参加者）の計9名で行いました。定禅寺通を中心に、仙台の魅力伝えるためのツアーになります。参加者と近い距離感で、仙台の魅力について伝え合い、自分が生活するまちに愛着を持ってもらえるようにプログラムを工夫しました。カフェでのトークタイムや、ガイドと参加者がペアになって活動することで、より深い交流を実現することができました。



## 3 成果と課題



どちらのチームもイベント実施に向け、話し合いを重ねそれぞれのねらいを達成するために、ルールやプログラムを工夫することができたのがよかったです。また、活動を通して企業やイベント参加者と交流を図ることもでき、今後の事業へのヒントを得ることが出来ました。課題は、若い世代のイベント参加者を集めることに苦慮したことです。どのように「広報する」「発信する」のが良いのか、工夫が必要だと感じました。

## 4 今後の展望

イベント参加者の方に、仙台のまちに愛着をもってもらえるように、自分たちの経験・知識をより高め、参加者の満足度を上げることが出来るようにしていきたいです。また、イベントに参加することを目的に足を運んでくれるような付加価値をどのように付けるか検討していきたいです。

